



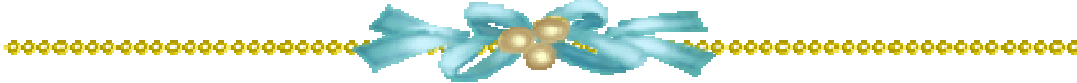
# KAN 4号



2006/12/11



今回は、クリスマス特集です！！  
KANメンバーが教員に本、映画などを紹介します！！



## なんか大変そうなみきちちゃんへ

映画 ナルニア国物語



第二次世界大戦下のイギリスで、ペペンシー家の4人の兄弟が疎開先の屋敷で空き部屋を見つける。扉を開けるとそこは神秘の国、《ナルニア》！

偉大な王、アスランが創ったこの国は冷酷な白い魔女の支配により、100年の冬に閉ざされていた。やがて言葉を発する不思議な動物とであった兄弟達はこの国の運命は自分達に託されて

いると知る。時にナルニア暦1000年のこと・・・・・・

最新テクノロジーで完全映像化された大作なのでぜひ一度見てみてください。いつも疲れてそうなみきちちゃんにはおすすめ。(げんき)



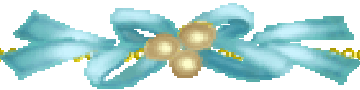


# 優しい中野さんへ

## 粉雪



“粉雪”はすごくいい曲で昔の冬を思い出すような曲です。  
さらに少し冬の恋愛も混じってちょっと切ない気持ちもある本当にいい曲です。  
今からでも聞きたくなる曲です。(なつみ)



# マーシーへ

## ONE LOVE

え～今回僕がおすすめる x`mas プレゼントはCDです！  
いや～買ってあげられないのが残念です。良い作品です。  
さて、そのCDとは!!! Bob Marley and the wailers (ボブ・マーリー・アンド・ザ・ウェイラーズ) の ONE LOVE (ワン・ラブ) というボブのベスト・アルバムです。ボブはレゲイというジャマイカで生まれた音楽を世界に広めた伝説のミュージシャンです。  
彼は81年36歳で世を去りました。しかし死してなおって感じのCDです。買ってね。  
(むい)





## 体育会系派のまっちゃんへ

### 埼玉と朝鮮



この本を僕は、勧めます。

この本は、朝鮮との関わりがどのようなものなのかがよくわかる本です。昔、朝鮮の人は、どうやって埼玉に来たのか？とか言う疑問もわかります。

この本は、埼玉県内の教職員たちが、埼玉県と朝鮮とのかかわりを調べ、まとめた本です。

埼玉に暮らす在日韓国人一家をとりあげ、どのような歴史をもち、どのように生きてきたかを紹介していたり、古代の武蔵野から近代にいたるまでの埼玉と朝鮮との歴史のかかわり、戦前・戦後の在日韓国・朝鮮人の問題を、埼玉と密着したかたちで掘り下げ、紹介している。

現在も埼玉に残る朝鮮文化跡をあるくコースもとりあげている本です。(シゲ)





# なんかおもしろおかしい、リコちゃんへ

## オレンジページ



旦那さんの川戸さんに美味しい料理を食べさせるために、「オレンジページ」はいかがですか？リコさんもお忙しく、料理をじっくり楽しみながら作ることが出来ないんじゃないかな？  
だけど大丈夫！美味しく早く簡単に料理が作れる雑誌「オレンジページ」

後で使える料理が盛りだくさんの「オレンジページ」  
この雑誌、お値段はなんと 280 円！これはお買い得！  
買っとかなきゃ、これは！

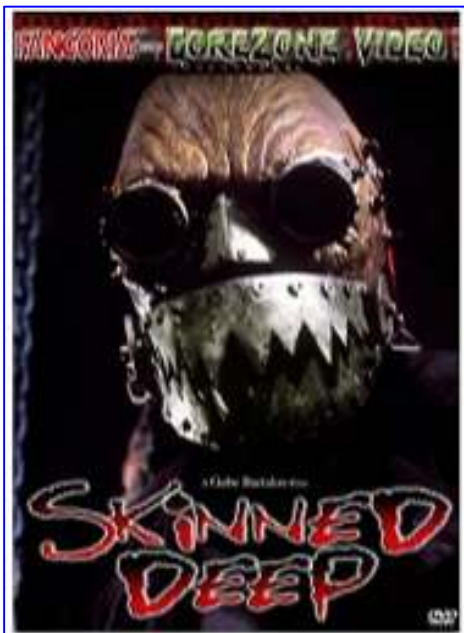
「オレンジページ」をぜひご利用ください！買ってね！  
おいしく料理作れたら、ぜひ夕食に招待してね！（シンタ）





# ツッコミ上手な塩崎へ

## バーサーカー



上のタイトルを見れば何となく分かるでしょうが、おススメするこの映画はホラーです。

といってもただのホラーではありません。  
笑いのセンスのあるB級ホラーなんです。

ストーリーは、4人の家族が旅行中に恐ろしいバケモノ一家に招待され、悲惨な目に合わされて、、、、

まあ書いて説明するより見たほうが早いです。

ちなみにぼくはDVDでこの映画を見ていて、いろいろと分かったことがあります。  
B級のBはばかのBだとか・・・いろいろ。

とにかく突っ込み上手の塩ちゃんにおススメする一映画です。

どうか見てください。(だいが)





# サッカー大好きなひらくへ

## 俺が近所の公園でリフティングをしていたら



僕が啓（ひらく）におススメする本はサッカーサポーターから電車男より泣けるといわれたサッカー青春物語(?)です。

あらすじはごく普通の高校生：樋口が、いろいろな経験をへてやがて世界へはばたく物語です。この物語は、とてもサッカーが上手いアメリカハーフの女の子モニカが転校してくるところから始まります。

それによりサッカー部のレベルがメキメキ上がり、次の年にA代表を倒すところから始まります。やがて樋口はU-20に無名なのに一人呼ばれます。

そして、世界でメッシなどと戦います。

けれど外国に遠征をしているときに恋人モニカを交通事故でなくレスランプに陥ります。

しかしある日一つの喫茶店に行くことにより、やる気を取り戻しました。そして大学に入り、特別指定選手として《FC 東京》に入ります。

やがて、A代表として、『ドイツワールドカップ』に出ます。

サッカー王国ブラジルに勝ち、見事【優勝】します。そして樋口は世界へとはばたいていきました。とても面白いので是非よんでみてください！（匠太郎）





# “平和”や“民主主義”を考えるすがまへ

## 銀河英雄伝説

銀河英雄伝説はぼくの愛読書の一つです。

ぼくは結構飽きやすくて読んだらもういい、って思う本も多いのですが、この本だけは三年たってもまだ飽きていません。だからおススメします。けどもう知っているかな？それでももう一度読み直すと新たな発見があるかもしれません。

で、ぼくがこの本に飽きない理由はまあ四つくらいあります。

① まず、世界観が楽しい、ということがあります。 題名どおりこの銀河英雄伝説は銀河、宇宙を舞台に、宇宙戦艦が戦います。最初、勢力は三つ。

専制主義の銀河帝国と、民主主義の自由惑星同盟、そして商業国のフェザーン。

そして銀河帝国と自由惑星同盟は血みどろで不毛な戦争を何百年も続けてきて、いつ終わるかわからない、というところで両陣営に2人の英雄が現れ、激戦をくり返し、時代を切り開いていく、という展開は、まさに宇宙における歴史小説です。

② 人物描写の面白さも秀逸。それぞれの人の性格がとても明確に刻み込まれます。

③ 戦術、戦略をもって戦争を描き、けっして英雄の乗る一隻の船が戦局を覆したりしない、という点も面白いです。



リアルな戦場を描き、基本的に登場人物のみなが戦争というものを愚かな殺し合いと見ているのも頷けます。そして作者は「皆殺しの田中芳樹」といわれる人です。

善人悪人、敵味方関係なく人が死んでいきます。ここもまた怖い、というかリアル。

④ で、ここが最大のポイント、かも知れません。



田中芳樹の作品は、はっきり言って小説としての価値を壊しているだろうって言われるくらい、社会評論をはさみます。けれどそこが、また面白いのです。銀河英雄伝説は政治をあつかっているから、とくに面白い！

「衆愚政治に墜ち、極度に歪んだ”民主国家”と、開明的な独裁国家どちらを選ぶ？」

「民衆が独裁者を望んだらどうするの、独裁者を倒すのは人民の敵？」

こんな問題、実際に目の前にあったら本当に困ります。小説の中だからこそすませられます。けど衆愚政治に墜ち、極度に歪んだ”民主国家”の自由惑星同盟ってこの世界のいろいろな国にあてはまるかも・・・。(だいち)



発行：自由の森学園図書館(大江) 編集：中学1・2年生図書委員会

(中1=川島成且、設楽弦生、校條夏生、中2=佐藤新太郎

中島大地、佐々木優太、丸山匠太郎 + 中島大互 + 岡田 檀)

連絡先：Tel042-972-3021 E-mail：[jib0@jiyunomori.ac.jp](mailto:jib0@jiyunomori.ac.jp)